



1 学期を振り返って

校長 檀原 延和

記録的な暑さが続いています。あと3週間ほどで1学期も終わり、子供たちが楽しみにしている夏休みとなります。ここで今学期の学校の様子を振り返ってみたいと思います。

【校内研究の推進】

年度当初の全体保護者会でお伝えしましたように、今年度は、「自分のよさや可能性を信じ、自立して学び続ける子どもの育成」～学び手中心の授業づくりを通して～を研究主題とした校内研究を学校経営の軸において教育活動を進めています。4月の校内研究会では、学年ごと年間指導計画の順序を見直したり関連付けたりしながら、年間のカリキュラムデザインを作成しました。

5月からは6年生を皮切りに単元内自由進度学習をスタートしました。研究授業を公開し、希望する他校の先生方にも参加していただきました。他府県からの参加者も多く、関心の高さがうかがえました。6月に行われた4年生の公開授業で

は、社会と算数の自由進度学習に取り組みました。先生たちは、子供がわくわく学びたくなる学習環境を準備しました。一人一人の子供は、学びの手引きを参考



に自分で学習計画を立てていました。そして、自分のその日のめあてに合わせて、自分が選んだ場所で集中して学ぶ姿がとても印象的でした。2学期も4回の公開研究会を予定しています。詳しくはホームページをご覧ください。

【畑の活動 野菜づくり】

近隣の農家さんである萩原さんと畑サポーターの渡辺先生に指導していただきながら、野菜の栽培活動に取り組んでいます。昨年度からお借りしている東町の萩原さんの畑に加え、今年度からは、学校から徒歩3分程のところにある保護者様の畑もお借りし、日常的に野菜づくりに取り組んでいます。



野菜作りは、とても奥が深いです。土づくりや畝づくり、水やりの共同作業や協力、種から野菜に育つ様子の観察、収穫や獲れたて野菜を味わう喜び、調理して食べる満足感、そして、自然の恵みや手伝ってくださった方々への感謝などが挙げられます。さらに、子供たち一人一人の興味関心を生かした探究的な学びにもつながっています。畑での活動は、様々な教育効果をもたらしてくれます。

【中庭をもっと自由に】

南小学校の卒業生である保護者の方の話によると、昔、中庭は、校庭と同じように自由に出て遊べる場所だったそうです。しかし、いつからか

「南小の約束」に遊び禁止の場所と明記されるようになりました。昨年度から、運動委員会や代表委員会の発案で、中庭を活用した様々なイベントを企画してきました。今年は更に身近に使えるように、イベントに関係なく中庭を憩いの場として過ごす取組を始めました。運動



委員会で当番を決め、緑のベストを着て見守りをしてくれます。現在は、熱中症対策で中断していますが、2学期以降の中庭活用が楽しみです。

【夏休みに向けて】

6年生は24日から2泊3日の林間学校へ参加します。長い夏休みは、普段の生活ではなかなかできないことにチャレンジしたり、毎朝のラジオ体操など地域の行事に参加したりする絶好の機会です。何かに夢中になり試行錯誤して取り組んだ経験は、一生忘れられない思い出となることでしょう。情報が容易に手に入る現代だからこそ、子供たちには、五感を使った体験をしたり、様々な人たちと関わったりする中で、自ら考え行動する喜びを味わってほしいと願っています。

【おわりに】

7月18日には通知表「みなみの子」をお渡しします。また、夏休み前半には個人面談を実施いたします。限られた時間ではございますが、保護者の皆様と1学期のお子様の成長や今後の課題を共有し、2学期からの更なるステップへ繋げていきたいと思っています。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。